

# 令和4年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（夏季）入学試験

### 入学試験問題

#### ⑩ アジア言語文化

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

\* 「アジア言語文化」科目は、A「中国関係」、B「韓国朝鮮関係」の大問に分かれる。いずれか一つを選択して解答しなさい。

## A 「中国関係」

I、次の設問から一つ選び、400字程度で論述しなさい。(100点)

- 1、明治期の漢文教育について、その特色や変遷等について述べなさい。
- 2、日本における「中国新感覚派文学」研究について、その現状と問題点を述べなさい。

II、次の項目の中から5つを選んでそれぞれ100字程度で説明しなさい。(選んだ番号を明示して書き始めること)。(20点×5)

- 1、楚辞
- 2、韓愈
- 3、諸子百家
- 4、王羲之
- 5、高等女子漢文読本
- 6、『駱駝草』
- 7、頼和
- 8、徐玉諾
- 9、稲垣足穂
- 10、ダダイスム
- 11、「漢文・唐詩・宋詞・元曲」の意味
- 12、明治期の「英数国漢」の意味

## B 「韓国朝鮮関係」

I、韓国語を初めて学ぶ日本語母語話者に対して「비가 와 있다」と「비가 오고 있다」の相違をどのように効果的に教授するかについて、言語学的な統語の概念を援用し、かつ具体的な事例を踏まえつつ、800字程度で論述しなさい。（100点）

II、次の項目を、それぞれ150字程度で説明しなさい。（20点×5）

- ① 崔鉉培
- ② 前間恭作
- ③ 国語醇化運動
- ④ 『朝鮮語辞典』と小田幹治郎
- ⑤ 天理外国語学校（旧制）